

P E T / C T 保 険 適 用

FDG を用いたPET/CT（ポジトロン断層・コンピュータ断層複合撮影）については、悪性腫瘍（早期胃癌を除き、悪性リンパ腫を含む）の病期診断および転移・再発の診断を目的として、下の表に定める要件を満たす場合に限り算定する。

疾患名

悪性腫瘍

保 険 適 用 範 囲

（早期胃癌を除き
悪性リンパ腫を含む。）

他の検査、画像診断により病期診断、転移・再発の診断が確定できない患者に使用する。

レントゲン検査やMRIなどの画像検査や血液や超音波などのその他検査などでの診断、転移、再発の診断が確定できない場合や、すでに悪性腫瘍と診断が確定されている場合に保険適用となります。

P E T / C T 保 険 適 用 Q & A

Q：PET/CTを悪性リンパ腫の治療効果判定のために行った場合はどうか？

A：転移・再発の診断目的と考えて算定可能

Q：PET/CTを悪性腫瘍か良性腫瘍の鑑別のために行った場合はどうか？

A：算定できない。

Q：がんの疑いでPET/CTは算定可能か？

A：算定できない。

Q：PET撮影要件について、例えば肺癌であれば「他の検査、画像診断により肺癌の存在を疑うが、病理診断により確定診断が得られない患者」という記載が無くなっているが、病理診断がなければPET撮影はできなくなったのか？

A：病理診断による確定診断が得られなかった場合については、臨床上高い蓋然性をもって悪性腫瘍と診断されれば、従前どおり算定できる。